

No. **32** 号
2023 年 5 月号
(令和 5 年)

ひらつかの風

ひらつか市民活動センターは、さまざまな分野の市民活動団体やボランティアなどで活動されている人たちが、これから活動しようとしている人たちを応援します。

CONTENTS

- P.1平塚市情報 令和 4 年度 寄附の報告
P.2団体レポート 『平塚合唱連盟』
P.3お役立ち情報
P.4センター情報、平塚市情報



ひらつか市民活動センターは
おかげさまで開設 20 周年を
迎えました。

団体 レポート

『平塚合唱連盟』 ～地域文化の向上をめざして～



平塚市情報

令和
4 年度

寄附の報告

市民活動支援のために、合計 **948,005 円** の御寄附が集まりました！

寄附者

- (株)伊達建設 様 ●(株)平塚経済懇話会 様 ●(株)マルハン平塚店 様 ●市川商事(株) 様 ●湘南リンパ四季の会 様
●「たすけ愛文庫」 147,910 円

令和 5 年度も随時、御寄附をお待ちしております。市民活動支援のための御寄附をお願いいたします。

平塚市協働推進課

●ひらつか市民活動センターのホームページをご活用
ください!!

センターからのお知らせ、最新の助成金情報、
登録団体イベント情報、センター実施事業の開催報告を
順次発信しています。右記の二次元コードから各情報が見られます。



センター情報



助成金情報



団体イベント情報



センター開催報告

団体
レポート

「合唱を愛する市民が地域の生きがいある暮らしをサポート」 ～地域文化の向上をめざして～『平塚合唱連盟』



「平塚合唱連盟」は、昨年3月に創立30周年を迎えました。
今回は、3月にひらしん平塚文化芸術ホールで「第50回ひらつか市民合唱祭」を成功され、さらに9月に「第8回ひらつか七夕コンサート」を計画されています
合唱連盟理事長「兵頭英明さん」に、現在の活動等の様子取材してきました。



合唱連盟のロゴマーク

■会の目的と設立の経緯

「平塚合唱連盟」は1992年(平成4年)3月に、加盟合唱団相互の友好を深め、平塚市内の合唱活動を円滑に行うことにより、地域文化向上に資することを目的として設立されました。30数年前の平塚の合唱界は、それぞれの



▲2022年度の役員のみなさん

の団の活動はあったものの、湘南合唱祭や平塚市民合唱祭では招集を受けて集まるだけで、団どうしの交流や人的交流は少ない状態でした。そのような中、神奈川芸術祭のフィナーレで行う“第九”公演の依頼をきっかけに、

「平塚第九をうたう有志の会」が結成され、727名の合唱団員が集まり第九公演は大成功を収め、それが、現在の「平塚合唱連盟」の前身となりました。

現在の「平塚合唱連盟」は、19団体・約300名が加盟する市民参加の合唱支援・振興団体です。

■多岐に渡る合唱活動事業

合唱活動というと、歌うことが好きな人たちが集まって技能の向上や仲間との親睦(これがメインの人も多いが)を楽しみに活動していると思われがちですが、「平塚合唱連盟」は地域文化の向上も目指しています(例えば平塚市最大の祭典である七夕まつりの認定行事に参加している)。理事長の兵頭英明さんに下記の質問に答えていただきました。



▲代表の兵頭英明さん

Q: 具体的には、どのような事業を行っているのですか?

A: 例えば、下記の事業を行っています。

- ① ひらつか市民合唱祭を「(公財)平塚市まちづくり財団」及び「ひらつか市民合唱祭実行委員会」が主催し、連盟が運営。
- ② ひらしん平塚文化芸術ホール開館記念のオープニングウィークプログラムに連盟が企画・出演
- ③ 「創作合唱物語『星空のレジェンド』～七夕によせて～」の作詞・作曲を委嘱、企画、運営し、湘南ひらつか七夕まつり認定事業として「ひらつか七夕コンサート」を開催
- ④ アメリカ(ローレンス市訪問)やリトアニア姉妹都市交流などの後援事業
- ⑤ 各演奏会において、震災遺児20年支援プロジェクトへの参加
- ⑥ 連盟機関紙「とおんきごう」の発行、加盟合唱団の演奏会支援 など

Q: 今年度のイベント事業をいくつか紹介してください。

A: 合唱連盟結成から30年を経て、今年もイベントをいくつか進めているところです。

① 3月12日(日)には「第50回ひらつか市民合唱祭」をひらしん平塚文化芸術ホール(大ホール)で開催しました。連盟に所属する22団体の他、神奈川県立平塚中等教育学校合唱部、連盟が主催のこども合唱教室「ひらつか星の子合唱団」等の合唱団が参加し、小学1年生から80歳超までの老若男女がそれぞれの持ち味を生かした曲を披露しました。また、独自に振り付けも入れて楽しく歌っている方もいて楽しさを膨らませていました。中には4人合わせると300歳超えの合唱サークルもありました。まさしく、会の目的である「生きがいのある暮らしと文化の向上」を具現化していたと思います。



4人で300歳超え▶

② 9月18日(月・祝)には「第71回湘南ひらつか七夕まつり認定事業」として「第8回ひらつか七夕コンサート(創作合唱物語～星空のレジェンド～)」を開催します。2015年から演奏していますが、例年参加していただいているソリスト、ダンス、ナレーターの皆さんの他に、今年は念願だったオーケストラ用の楽譜も完成し、平塚フィルハーモニー管弦楽団と一緒に演奏することになりました。一段と飛躍した内容にしていますので楽しみにしてください。

また、合唱団員も募集しておりますので、ふるってご応募下さい。

③ 「平塚市の合唱人口の掘り起こし」を目的に、こども合唱教室(ひらつか星の子合唱団)を開催し、低年齢から合唱への興味や技能が向上するようにしています。平塚青少年会館や中央公民館で月に2回の練習を行い、合唱祭にも出演し、今後は七夕コンサートにも出演する予定です。興味のある小学生・中学生がいましたら是非ご参加ください。

■合唱団員を募集しています

各合唱団体では、団員の募集をしています。歌いたい!歌ってみたい!その気持ちを一緒に実現しましょう。合唱に興味のある方一緒に歌いませんか。いつでも大歓迎です。まずは体験で!!練習日にいらしてください。

メンバー募集及びお問い合わせはこちら

e-mail :
hiratsuka.choral.association22@gmail.com (平塚合唱連盟)
ホームページ:
hiratsuka-gasshou-rennmeijimdoofree.com (平塚合唱連盟)



お役立ち
情報

令和5(2023)年5月1日 ひらつか市民活動センターは 開設20年を迎えました!!

20
周年
記念
スタンプ

ひらつか市民活動センターは平塚市市民活動推進条例(平成15年1月1日施行)に基づいて設置されています。

条例の施行に至るまでには、全18回にも及ぶ条例検討委員会と公開検討会、そして多くの市民の声によって作り上げられてきた経緯があります。行政では手が届かない地域の課題に取り組む市民活動団体が、活動しやすい環境の整備と団体支援に向けた議論が当時活発に行われていました。先人たちの努力のおかげで市民活動を取り巻く環境整備が整い、現在に至っています。

今後も30年、50年と市民活動団体の皆さまと志を1つに、活動拠点としてのセンターを盛り上げ、市民活動の活性化に向けて取組んでいきたいと思ひます。

●平塚市市民活動推進条例施行までの経緯●

平成11年当時から市民及び市民活動市民団体が力をつけていくこと、市民意識の向上、協働の推進、コーディネーター機能の整備、財政支援、場所の提供などが議論されていました。

平成10(1998)年6月	市民活動団体実態調査(市民活動推進研究会)
平成11(1999)年3月	市民活動推進研究会(市民活動推進の在り方を提言)
平成12(2000)年8月1日	平塚市市民活動条例検討委員会設置(委員15名)
同 10月3日	第1回委員会……委員会運営方法の決定、青年会議所設置運動
同 11月21日	第3回委員会……市民活動団体が力をつけるための方策の検討
平成13(2001)年1月23日	第5回委員会……横須賀市の条例検討、税制優遇について検討
同 4月10日	第8回委員会……財政支援としての基金、活動拠点の検討
同 7月23日	第13回委員会……基金設置の検討(公益信託を検討)、活動拠点の検討
同 8月1日	第14回委員会……条例大綱案各規程内容検討(定義・責務・市の施策等)
同 8月28日	第17回委員会……条例の名称「市民活動推進条例」(案)が出された。
同 9月8日	公開検討会……45名参加、条例大綱案の説明、意見交換
同 9月21日	第18回委員会……最終の条例大綱案の確認
平成14(2002)年9月	市議会に提案……可決・成立した。平成14年9月30日 条例第17号

平成15(2003)年5月1日	センター開館……公設公営、消費生活センター同時開館(八重咲町)
平成29(2017)年4月1日	民営化へ……3年間かけて段階的に運営体制を民営化へと移行
平成31(2019)年4月1日	見附町移転……崇善公民館との複合施設として見附町にオープン
令和5(2023)年5月1日	開設20周年



▲平成31(2019)年4月
移転後の新しいセンター

平成24(2014)年9月
センターまつりの様子



●NPOの歴史・NPO法人と公益法人●

- ◆昭和55(1980)年
日本国際ボランティアセンター(JVC)(NPO元年)
- ◆昭和63(1988)年
公益法人制度(社団法人・財団法人)施行
営利を目的としない組織に対して、初めてできた法人
- ◆平成7(1995)年1月17日
阪神淡路大震災(ボランティア元年)
- ◆平成10(1998)年12月
特定非営利活動促進法施行
- ◆平成13(2001)年
認定特定非営利活動法人制度成立
- ◆平成18(2006)年
公益法人制度改革関連3法が成立
「一般法人(社団法人・財団法人)」と
「公益法人(社団法人・財団法人)」に分かれた。
→平成20(2008)年12月施行された
- ◆平成23(2011)年3月11日
東日本大震災(寄附元年)
- ◆平成23(2011)年6月
NPO法大幅改正改正NPO法と呼ばれ、
→平成24年(2012)年4月施行された



●平成10年6月市民活動推進研究会調査● 調査票送付団体:204 有効回答数:134(回収率65%)

活動分野	福祉39%、消費・食生活17%、文化・教養11%、まちづくり7%
会員数	10~20人・50人~100人25%、100人以上17%、→50人以上が全体の4割強を占めていた。
規約・会則の有無	明文化されたものがある49%、口頭了解・慣例的なものがある14%、特にないが3割程度あった。
活動の財源	会費6割強、事業収入があるは全体の4分の1、補助金・助成金の支援を半数の団体が受けていた。
団体の活動状況	各地区公民館、中央公民館・勤労会館等公共施設の利用が8割強
情報受発信	他団体の情報収集が4割、関連分野の専門家情報2割強であった。また利用する媒体として行政機関の広報紙が5割、次いで団体の機関紙、新聞・雑誌と続く。
団体の課題	メンバーが忙しい、特定の個人に責任が集中するがそれぞれ3割強、活動資金の不足が2割強、続いて印刷機など機材が身近でない、打合せの場の確保
行政や他団体との交流	半数以上の団体が交流していると回答。
行政施策との関係	行政では対応できない活動・本来的には行政がすべき活動を合わせると3割強
法人格(NPO法人)の取得	平成10年(1998)12月1日に施行、当時はわからない。必要ではないが7割弱であった。この時期6団体が法人化している。
大規模災害時の被災者支援	特に考えていない3割、他団体と協力したい3割強

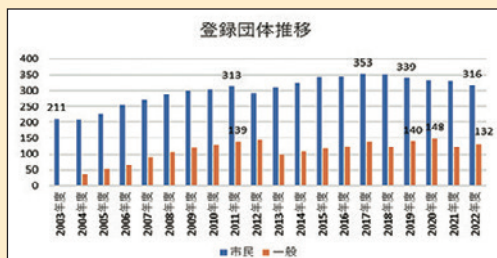
20年前のデータと今を比べてみると、団体の課題は殆ど変わらないことがわかります。人材不足、活動資金の不足、活動場所、情報発信 etc.

市民活動を支える仕組みづくりも課題と言えるでしょう。



●センター登録団体数及び利用人数の推移● (市民=NPO法人・市民活動団体 一般=サークル系・同窓会等)

センター設置から20年、2019年よりコロナ禍で若干利用が落ち込みましたが、2022年後半からは増加傾向にあります。



▲平成18(2008)年6月
市民活動ファンド公開審査会



センター情報

● 団体活動にお役立てください！

居場所づくり講座「誰かにつながる・何かにつながる！地域の居場所をつくりませんか？」

子どもが安心できる場所、ママたちが気軽に集まれる場所、多世代が交流できる場所、そんな場所が地域にあったらいいと思いませんか？事例を交えて居場所づくりを学びます。

日時 ● 7月15日(土) 14:00～16:00

会場 ● ひらつか市民活動センター 会議室 AB

講師 ● 米田 佐知子氏 (子ども未来サポートオフィス)

事例紹介 ● 地域のお茶の間研究所 さろんどて・ひばり野のなかま達

対象 ● 居場所づくりに関心のある市民団体または個人

定員 ● 30名 参加費 ● 無料



新企画「夏休み子どもわくわくフェスタ 2023」開催！

夏休みの一日を楽しく過ごしてみませんか？

マジック体験、吹き矢、自分だけの竹とんぼづくりなど、遊んで学べるイベントが盛りだくさん！お友達やご家族をお誘い合わせの上で来場ください。(入退場自由)

日時 ● 7月29日(土) 10:00～14:00

会場 ● ひらつか市民活動センター・崇善公民館 全館で開催

対象 ● 崇善地区・その周辺の小学生及びその弟妹、保護者

*ひらつか市民活動センターと崇善公民館との共催事業です。



平塚市情報

令和5年度 市民活動推進補助金事業の交付決定！

令和5年3月11日(土)に令和5年度に実施する補助事業の審査会を開催し、次のとおり交付決定しました。補助金に興味のある方は、平塚市協働推進課までお問い合わせください。



入門コース

- ① サードプレイスもゆらに (交付決定額:9万円) ……フリースクールを検討している子どもたちの居場所作りとその活動のサポート

発展コース

- ① NPO 法人湘南平塚きざわ里地山ラボ (交付決定額:36万円) ……農作業学習農園事業(草刈作業)
 ② ママぎゅっと (交付決定額:20万円) ……平塚子育てポータルサイト「söpö ひらつか」作成
 ③ NPO 法人しえんのまなび舎 (交付決定額:17万円) ……手から手へ優しさと温かさを広げる和やかな支援
 ④ ひばり野のなかま達 (交付決定額:14万円) ……ちいき・子ども食堂及び学習支援



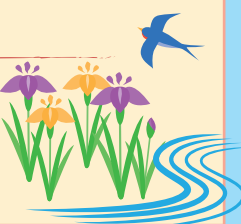
事業内容等はこちら ◆ https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kyodo/page37_00014.html



編集後記

平塚合唱連盟が昨年30周年ということで、3月12日に市民合唱祭の取材をさせていただき合唱への熱い思いを感じることができました。本センターも開設20周年の節目を迎え、夏休みには崇善公民館とのコラボイベントを組むなど新たなチャレンジを試みます。

今後とも本センターの事業にご協力よろしくお願いいたします。(せ)



編集・発行

ひらつか市民活動センター

(開館時間 9:00～22:00 年末年始、施設点検日を除く)

〒254-0045

神奈川県平塚市見附町 1-8

TEL ● 0463-31-7571

FAX ● 0463-35-6601

Eメール ● info@hiratsuka-shimin.net

URL ● <http://hiratsuka-shimin.net>

センター登録団体数 (2023年3月15日現在)

登録団体数 ● 459 団体

(内訳 市民活動団体…327 団体、一般団体…132 団体)



センターのマスコット
たすけくんといいちゃん

